

第2講座 旧石器時代と縄文時代です 確認編

(1) 相沢忠洋は群馬県（ ）遺跡にて旧石器時代を示す。打製石器を発掘した。	(1)	
(2) 上記遺跡の赤土層は（ ）と言われる。	(2)	
(3) 旧石器時代末期には骨や木の柄に嵌め込んだ小型石器、（ ）が使われた。	(3)	
(4) 槍先に取り付けた石器は（ ）と言う。	(4)	
(5) 縄文時代の食糧確保として狩猟、（ ）、（ ）が行われていた。（順不同）	(5)	
(6) 貝殻や骨を捨てた場所を何と呼ぶか。	(6)	
(7) 米国人（ ）が縄文時代の遺跡を発掘した。	(7)	
(8) 上記人物は東京都にて（ ）貝塚を発見した。	(8)	
(9) 縄文時代の釣針や銚の材質は（ ）と呼ばれる。	(9)	
(10) 縄文土器は厚手で（ ）色の特色がある。	(10)	
(11) 縄文時代は（ ）に暮らしていた。	(11)	
(12) 縄文時代では中型動物を狩る為に（ ）が用いられた。	(12)	
(13) 上記の鏃には黒曜石で加工された（ ）が用いられた。	(13)	
(14) 縄文時代には煮炊きや貯蔵のため（ ）が造られた。	(14)	
(15) 縄文時代の交易を示すものとしてガラス質の石器の広範囲分布があげられる。長野県、和田峠を産地とする。このガラス質の石器は何か。	(15)	
(16) 新潟県、姫川流域を産地とする縄文時代の交易を示す物は何か。	(16)	
(17) 縄文時代の信仰として、精霊信仰の（ ）が挙げられる。	(17)	
(18) 男性の象徴として造られたものを何という。	(18)	
(19) 女性を象ったものを何という。	(19)	
(20) 縄文時代の成人通過儀礼として何が行われた。	(20)	
(21) 縄文時代の埋葬では死者の手足を折り曲げた（ ）が行われた。	(21)	
(22) 縄文時代は土器の形式から（ ）→早期→前期→中期→後期→晩期に分類される。	(22)	
(23) 縄文時代の代表的な遺跡は青森県の（ ）遺跡である。	(23)	
(24) 縄文時代では木の実を磨り潰すため、（ ）と（ ）が用いられた。（順不同）	(24)	

(メモ欄)